



瀬谷北部町内連合会



主な区域

五貫目町・北町・目黒町・上瀬谷町
中屋敷・竹村町・卸本町

地域とつながる 地域に根づく

自分の地域をもっと知ってみませんか？
いざという時に心通う助け合いができるように――。



高齢者・子どもの交流盛ん

6つの自治会・町内会に約3000世帯が住む瀬谷北部地区。地区内に五輪の塔、牢場の坂、妙光寺の梵鐘など旧跡や昔ながらの風景を残す一方、北町や目黒町、五貫目町などのほか、マークスプリングスや上瀬谷住宅に新たに移住してくる人が増えている。「少子化が進む世の中で、上瀬谷小学校は児童数約800。年を追うごとに増加の傾向にある。新しい人が増えるのは地域にとって喜ばしいこと」と話す奥津敏雄連合町内会長。

平成22年には「農作業を通して高齢者と子ども、地域住民が交流できる場を」と上瀬谷農業専用地区内に「ふれあい農場」を完成させた。区内学校の児童生徒たちと手作りの無農薬野菜を育てている。瀬谷養護学校で行われる「交流フェスティバル」では育てた大根や白菜、里芋を販売している。



桜の時期には多くの人で賑わう海軍道路



高齢者に配られた防災グッズ

毎回大盛況のお食事会



高齢者の見守りにも力を入れている。社会福祉協議会のメンバーが中心となって構成された「むつみ会」が各自治会・町内会と連合町内会で高齢者を招待する「お食事会」を開催。連合町内会の食事会では80人以上を招待している。平成23年の2月には簡易ライトや水、クラッカー、ビスケット、飴、ホイッスルを入れた防災袋を65歳以上の一人暮らし、70歳以上の老人世帯に配布。「3月11日の震災の時に安心できた」という声が多く聞かれたという。



歩行者トンネル完成

陳情書提出から4年

工事前は歩道と車道が一体



瀬谷北部地区にある、上瀬谷町と目黒町を結ぶ東名高速道路下に歩行者専用トンネルが開通し、平成23年12月18日、開通式典が行われた。

当日は瀬谷北部町内連合会(奥津敏雄会長)や、トンネルが通学路になっている上瀬谷小学校、瀬谷土木事務所などの関係者らが出席し、トンネル付近の若宮八幡神社で式典を行った。その後トンネル前で上瀬谷小児童や地元選出議員らがテープカットし、参加者は完成したばかりのトンネル内を見学しながら歩いた。

この場所には歩道と車道を兼ねたトンネルがあり、「歩道が両側に約50cmほどしか確保できず、歩行者がいる状態で車両がトンネル内ですれ違うことが困難」と、以前から問題になっていた。

トンネルは通学路にも指定されており、小学校や近隣住民らが歩道設置を要望。近隣の住民が平成19年、横浜市長や市議会に向けて陳情書を提出し、平成22年5月には従来のトンネルの脇に、新たに歩行者専用トンネルを設置する工事が始まった。



児童たちがテープカット



トンネル内を親子で歩く



区で唯一の県重文

妙光寺の銅鐘



銅鐘は境内にあり、参拝客は気軽に鑑賞することができる

上瀬谷町の妙光寺(秋山智謙住職)には神奈川県的重要文化財に指定されている銅鐘がある。

これは1325年に物部守光によって鑄造されたもので、瀬谷郷を守っていた山田伊賀守入道が質流れとなっていたこの銅鐘を手に入れ、妙光寺に寄進したといわれている。昭和44年に県の重要文化財に指定された。

瀬谷区内に伝わる民話には、鎌倉時代に山田入道が、恩田村(現青葉区恩田町)の万年禅寺の通周和尚との法論対決に勝ち、寺から半鐘と梵鐘を一人で持ち帰ったという話が残っている。



町内対抗で熱戦必至

瀬谷北部町内連合会主催のレクリエーション大会が毎年10月に上瀬谷小グラウンドで開催されている。

これは瀬谷北部地区の各自治会、町内会対抗で行われているもので、毎年熱戦が繰り広げられている。カンガルー競争や障害物競走、大縄跳び、地区別リレー、綱引きなどで優勝を争う。プログラムには未就学児童へのプレゼント企画もある。

瀬谷北部地区連合町内会の奥津敏雄会長は「皆目の色変えて優勝を争うので、今年も良い勝負が期待できるのでは」と話している。

地域の自治会・町内会に加入しませんか？
問い合わせ先は、瀬谷区役所地域振興課 TEL367-5691